学校番号	215

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	新編　国語総合　（数研出版）						
副教材等	「常陽国語便覧」（浜島書店） 「字義で覚える常用漢字」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学時よりも難度の高い文章(評論・小説・古典)を読んで正しい日本語に触れ、古典を含む文学的文章や韻文を読んで日本の言語文化に触れていきます。感想や意見を書くことを求める機会もあります。主体的に考える力、表現力を磨きますので、「自ら」文章を読む姿勢が求められます。
・辞書での語句調べ、漢字の小テストを頻繁に行うなど、基礎的な語彙力の向上をめざします。宿題として課す場合もありますので、家庭学習の習慣もつけていきましょう。
・日常的に、調べる癖、考える癖をつけていき、できることから一つずつ取り組んでいきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・言語文化に対する関心を持ち、自らの能力の向上を図ろうとする。
・中学時よりも高度な文章（評論・小説・古典）を読み、自分の考えや意見を表現することができる。
・社会に通用する国語力（読解力・表現力・語彙力）の基礎を身に付け、かつ豊かな情緒を育む。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めると共に、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取って、自分の考えをまとめている。	相手や目的、意図に応じた表現による文章を書き、自分の考えをまとめている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検	・行動の観察	・記述の確認 ・定期考査	・発言の確認 ・記述の確認及び分析 ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認 ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期中間	現代文	・未知の可能性に思いを馳せる。 教材:「世界は一つのクラスルーム」(随想) ・日本的な文化・ものの感じ方の特徴について知り、感性を育てる。 教材:「水の東西」(評論)	○			○	◎	a: 題について関心を深め、的確に読み取ろうとしている。 d: 指示語に注意して文脈を的確に読み取っている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:記述の確認、定期考査 e: 記述の確認、定期考査
	古典	・古典の特色を学び、文章の響きに親しむ。 教材:「古文に親しもう」 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」	○			○	◎	a: 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。 d:古文とは何かを理解し、その学習範囲を理解する。 e:歴史的仮名遣いについて理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認、定期考査 e:記述の確認、定期考査
一学期期末	現代文	・文章の内容を叙述に応じて的確に読み取る。 教材:「滅びるものは滅びるままに」(随想) ・国語における表現の特色を理解する。 教材:「語感トレーニング」(随想)	○	○		◎	○	a: 話題について関心を深め、的確に読み取ろうとしている。 b: a についての考えをまとめ、深めている。 d: 指示語に注意して文脈を追い、筆者の意図する内容を的確に読み取っている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察 b: 行動の観察 d: 記述の確認、定期考査 e: 記述の確認、定期考査

	古典	・古文の表現に慣れる。 教材:『徒然草』 「神無月のころ」 「奥山に猫またといふ所ありて」	○			◎	○	a: 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。 d:文章を表現に即して読み、「児」や「僧」の心情や人物像をとらえている。 e:古語と現代語の共通点、相違点について気付いている。	a:行動の観察 d:行動の確認 e:記述の確認、定期考査
二学期中間	現代文	・文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 教材:「コインは円形か」(評論) ・登場人物の心情の変化を丁寧に読み取る。 教材:「とんかつ」(小説)	○			◎	○	a: 話題について関心を深め、的確に読み取ろうとしている。 d: 指示語に注意して文脈を追い、筆者の意図する内容を的確に読み取っている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d: 記述の確認、定期考査 e: 記述の確認、定期考査
	古典	・物語を読み、登場人物の心理描写をつかみ味わう。 教材:『伊勢物語』 「芥川」「筒井筒」	○			◎	○	a:文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。 d:地の文と若の関係をふまえ、登場人物の心情をとらえている。 e:文語の決まりを理解している。	a:行動の観察 d: 記述の確認、定期考査 e: 記述の確認、定期考査
二学期期末	現代文	・名文に触れ、登場人物の心情の変化を丁寧に読み取る。 教材:「羅生門」(小説) ・日本特有の言語文化に触れる。 教材:「俳句」 ・適切な表現を学ぶ。 教材:「手紙」	○		◎	○	○	a:話題についての認識を深め、個性的な文章表現を味わおうとする ｄ：文章に描かれている情景を、本文に即して読み、状況、心理を捉える手がかりとしている。 ｃ：文章の形式や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認、定期考査 c:記述の確認 e: 記述の確認、定期考査

	古典	・作者の思いや背景を視野に入れて作品を読む。 教材:「万葉集/古今和歌集/新古今和歌集」 教材:『平家物語』 「木曽の最期」	○			◎	○	a: 話題についての認識を深め、個性的な文章表現を味わおうとする。 d: 人物、情景、心情などを表現に即してとらえ、理解する。 e:語句の意味や修辞について理解している。	a:行動の観察 d: 記述の確認、定期考査 e: 記述の確認、定期考査
学年末	現代文	・日本特有の言語文化に触れる。 教材:「短歌」 ・名文に触れ、登場人物の心情の変化を丁寧に読み取る。 教材:「夢十夜」(小説)	○	○		◎	○	a:話題についての認識を深め、個性的な文章表現を味わおうとする。 b: a についての考えをまとめ、深めている。 d:文章に描かれている情景を、本文に即して読み、状況、心理を捉える手がかりとしている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a 行動の観察 b:行動の観察 d: 記述の確認、定期考査 e: 記述の確認、定期考査
	古典	・中国の思想、言語文化に触れる。 教材:「漢文の海へ/訓読のきまり/格言」 「漁夫の利」 「虎の威を借る狐」 「絶句と律詩」	○			○	◎	a:漢文の構造を理解しようとしている。 d:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 e:訓読の決まりを理解している。	a:行動の観察 d: 記述の確認、定期考査 e: 記述の確認、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。